



様式第1号 (第8条、第9条関係)

事業者行動計画書 (変更計画書)

2019年 7月 31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府豊中市豊南町東2丁目4番6号
氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)
富士シート株式会社
取締役社長 山田 博明

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 (第20条第3項・~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する
同条例第20条第4項) の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更) したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	富士シート株式会社 取締役社長 山田 博明
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	大阪府豊中市豊南町東2丁目4番6号

1 事業所の概要

事業所の名称	富士シート株式会社 滋賀工場
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市南津田町1950番地
主たる事業	細分類番号 3 1 1 3 輸送用機械器具製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	令和元 年度 ~	令和5 年度
---------	----------	--------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

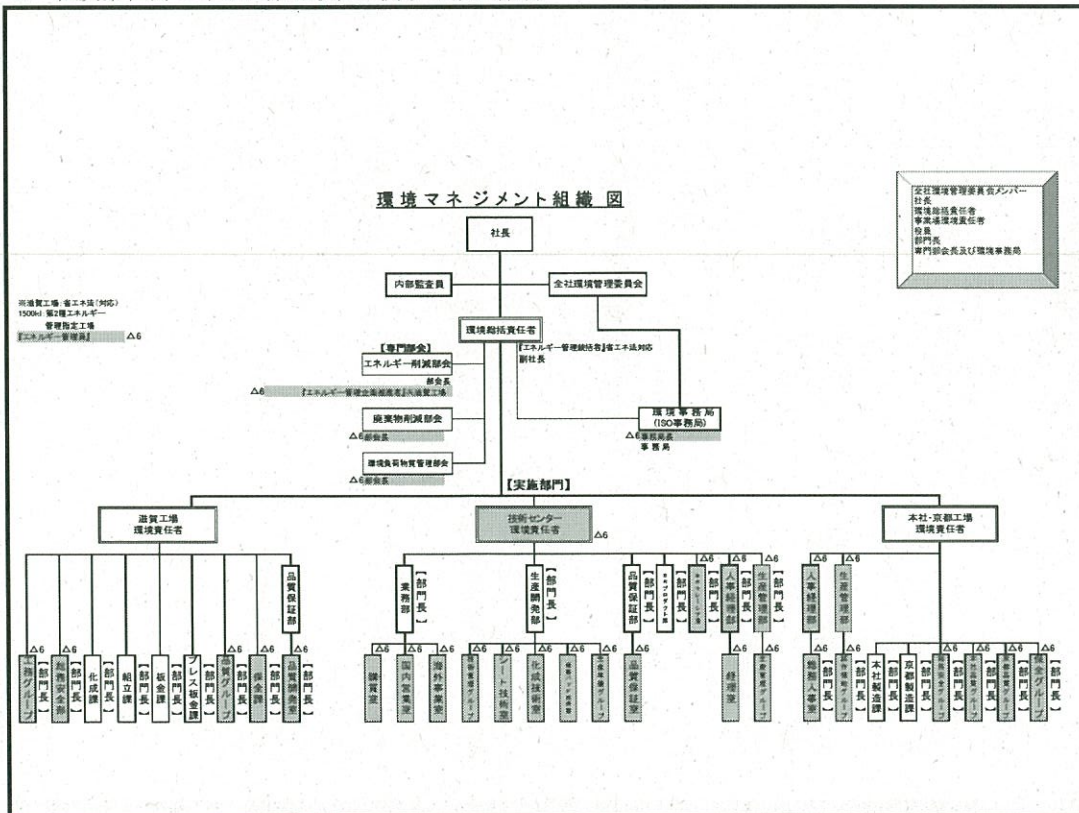
理念

『富士シート株式会社』は自動車用シート並びに内装部品を生産、販売する事業活動において、地球環境と企業活動の調和の重要性を自覚・認識し、新しい21世紀の循環型社会の実現に貢献する。

方針

1. 環境関連の法規制、条例、協定等環境保全の維持、工場に必要な要求事項を遵守する。
2. 事業活動が環境に与える影響を認識し、自主的に環境目的・目標を掲げ継続的改善と汚染の防止に努める。
3. 本環境方針を社内外に開示すると共に、全社員に対する環境教育を実施し、環境保全の工場を図る。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

2001年に『ISO14001』を取得し、計画的に維持・改善を行なっている。
具体的な省エネ活動は以下の通りである。

- ・照明の切り忘れ防止による、電気エネルギーの削減
- ・空調設備の運転管理による、電気・LPGエネルギーの削減
- ・エアリーク撲滅による、電気エネルギーの削減
- ・空調・ストーブの運転管理による、電気・LPG・灯油エネルギーの削減
- ・設備電源のON・OFF管理による、電気エネルギーの削減

生産の増加及び新規設備の追加により、温室効果ガスは増加しているが
空調や照明の使用量低減は充実している。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	空調管理基準で夏季は28℃で入、25℃で切 冬季は17℃で入、20℃で切と設定	令和元年～令和5年
2	運用対策	管理棟内の照明全てに個々のスイッチを取り付けて 人がいる所のための照明とする。	令和元年～令和5年
3	運用対策	定期的にエアールールのチェックを行い即日修繕を行なう。	令和元年～令和5年
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

炭酸ガス換算実績「年間1%減」を目標とし各期 引き続き4事業所で「1%低減」を目指す。
※1%の目標には、省エネ法で推奨される、1%減
(任意目標)をベース算出

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

- ・車両座席の軽量化を計り、低炭素社会への貢献を目指す。
- ・品質不具合を低減する事で、天然資源の使用を減らす。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

- ・車両座席の軽量化により、天然資源(鉄等の金属)使用量も減り
また、車両自体の燃料低減にも繋がる。
- ・不具合低減により、天然資源の使用も減り、また、客先への
信頼も増すことができる他、作業時間の低減にも繋がり
全体的なエネルギー低減となる。

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施 スケジュール
1	廃棄物低減	廃棄物の分別により再資源化を促進し 産廃費用を令和5年度までに各年毎に 3%低減を目指す。(合計14%)	令和元年～ 令和5年
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			